

平成23年度 大田区立調布大塚小学校経営計画

1 目指す学校像

- (1) 児童にとって、授業がよく分かり、充実感のある生活ができる学校
- (2) 保護者にとって、教育内容がよく理解でき、教育活動が納得できる学校
- (3) 教職員にとって、資質や指導技術が高まり、自分の能力が発揮できる学校

2 本校の現状と課題

- (1) 基本的な生活習慣等については身につけている児童が多い。学習意欲や諸能力、最後まで頑張る強い意志などは十分とは言えない。指導を要する児童には、学習指導・生活指導・教育相談などきめ細かく対応する必要がある。
- (2) 小規模校のため、一人あたりの校務が多く各教員が職務に精通する必要がある。経験豊かな教員が若手教員をこまめに指導する必要がある。とくに、学級経営や児童理解・生活指導など基本的な事項については、主幹や主任教諭を中心に徹底し、円滑な学級経営を行うことが重要である。日頃から何でも言える雰囲気作りにつとめ、教職員全員で経営方針を理解し達成に努める。
- (3) 地域は学校に大変協力的で、一緒に児童を育てるという機運が高い。従って、教育活動の内容などを保護者に随時説明し報告し、理解と協力を深めるようにする。PTAや学校支援地域本部などの協力を得て、人材活用や外部機関との連携を深める教育を一層進める。

3 学校経営目標（重点目標の設定）と方策

(1) 中期的目標と方策

- ① 「おおた教育振興プラン」をもとに、わかる・できる喜びを大切にし、児童に基礎的・基本的な内容の徹底や学習習慣の育成を図る必要がある。
- ② 具体的で評価可能な生活指導を推進し、内面理解に基づく規範意識を徹底する。
- ③ 連絡・報告・相談・確認を徹底し、情報の共有化と教職員の共通実践を行い、保護者や地域関係者への理解と協力を一層進める。

(2) 今年度の目標と方策

① 学習指導・学力向上

- 「生きる力」の育成を図るための基礎的・基本的な内容の定着を図る。
 - ・「共に学び考えを深める子」の研究主題を生かし、課題追究意欲や協同で学ぶ力の育成を図る。その際、地域に残る文化財の教材化や人材の有効活用を進め地域力を総合的に活用した研究と授業実践に努める。
 - ・新学習指導要領全面実施の年であることを踏まえ、その確実な履行のため、各教科や領域で内容や方法を検討し、全教職員で共通理解して実践する。
 - ・少人数習熟度別学習（3年以上） 補習教室の実施（平日・休日）
 - ・区や国の学力調査・授業改善推進プランの計画実践（学期1回実施後協議）
 - ・体験活動や奉仕活動の推進 地域清掃・保育園交流・
- 運動することの楽しさを通しての体力作り

- ・毎日朝、外遊びで体力向上と仲間作りを進める。
- ・全学年の体力テストを実施するとともに、「縄跳び」に焦点をあてて柔軟性や持久力の育成を進める。

○ 英語活動の推進

- ・本年度5・6年生35時間実施。区の方針に従い、適切な評価を実施する。

② 安全と防犯・防災

- 学区や校内での安全管理に努めるとともに児童の安全管理能力を育成する。
- ・年1回の防犯教室の実施 避難訓練と下校体制を連結した訓練の実施(毎月1回)
- ・田園調布警察署スクールサポーターとの交流(2週間に1回程度)
- ・週番・主事・PTAの学校周辺の定期的巡回(毎日2~3回)

③ 学級経営・生活指導の充実

- 具体的で計測的な達成できる学級経営・生活指導を実施する。
- ・登下校の交通事故(特に歩道橋)・休み時間や放課後の遊び管理を徹底する。
- ・共感的児童理解と毅然とした指導を進める。集団生活の維持と発展のため、約束や規律を見直し改善する。若手教員が基本的な指導を誤らないように、日頃よりの確かな指導と助言を与える。
- ・いじめや不登校を早期に把握し、保護者と緊密に連絡を取り解決を図る。
- ・インターネット、携帯電話の弊害を児童や保護者に啓発し家庭での対応する。

④ 特別支援教育の充実

- 一人一人の児童をよく理解し全教職員の共通理解と実践で指導にあたる。
- ・児童と保護者と関係機関との連携強化(関係会議月1回)
- ・児童の個別指導計画や教育支援計画の作成と達成状況を毎学期実施する。
- ・児童への事例研究を十分行い、専門機関と連携・協議する。

⑤ 幼保小中学校一貫教育の推進

- 近隣保育園・幼稚園や田園調布中学校・東調布中学校・石川台中学校との教育活動の連携を強化する。
- ・授業研究会の開催や教員同士の定期的な交流(全体会学期1回)
- ・学校公開による互いの交流を定期的に進める。
- ・小中学生の心を理解する活動の推進(道徳授業地区公開講座 文化祭交流など)
- ・特別活動での児童・生徒の交流(挨拶運動・地域活動・部活動など)

⑥ 保護者への説明・連携

- わかりやすい教育の説明を推進する。
- ・「学校だより」を見やすくホームページの改訂・見直しを行う。
- ・ふれあい給食(関係機関の方を招待)
- ・学校公開日(年3日)研究説明会(年1回)及び道徳授業地区公開講座(年1回)の実施により、保護者・地域の学校への理解を深めてもらう。
- ・外部評価や保護者評価などにより、本校の教育への意見を聞く。(年2回)
- ・「学校支援地域本部事業」を立ち上げ、学校内外の教育活動の活性化を進める。

4 その他

- ① 研究主題に従い、各教科や道徳などを学校公開日に研究発表として実施する。